

2026年度 シラバス

科目名	衛生管理	区分	必修	単位数	2 単位	対象学年	1 年
担当教員	尾崎 塚田 森田 吉川	実務経験	無				
学修内容	美容師は、不特定多数の人々と接触する職業である為、自己防衛の学びとして公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術及び実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえる衛生管理を理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、講義を中心として行う。必要事項を板書し、復習として練習問題を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	単元ごとに練習問題を自宅課題として配布し、解説を講義にて行う。						
使用教材	教科書（公益社団法人 日本理容美容教育センター）						
実務経験に基づく授業内容	歯科医師として、診療(実務)を行う中で常に不特定多数の患者と直接及び間接的に接触し、様々な感染症の患者の診療も行い、感染症に対する感染経路対策、標準予防対策に努めております。さらに皮膚及び器具の衛生管理技術に関する消毒法も日々実践しております。そのような経験から、学生に対して美容所に関しても我々と同じ不特定多数のお客様と接する業務である為感染症に対する様々な危険性、皮膚及び器具に対する重要性、公衆衛生、及び環境衛生の大切さを伝える事で在席時及び卒業直後より実践で発揮できるよう教育していきます。						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	公衆衛生	公衆衛生の意義について理解する					
第2回		公衆衛生の発展と歴史について理解する					
第3回		保健所の業務について理解する					
第4回		母子保健(出生と死亡)について理解する					
第5回		母子保健(母子の健康管理)について理解する					
第6回		成人・高齢者保健(死亡率)について理解する					
第7回		成人・高齢者保健(平均寿命)について理解する					
第8回		生活習慣病と対策について理解する					
第9回		健康増進対策について理解する					
第10回		健康日本21について理解する					
第11回		高齢者の保健と福祉について理解する					
第12回		介護保険制度について理解する					
第13回		精神保健について理解する					
第14回	環境衛生	環境衛生の目的と意義について理解する					
第15回		空気成分について理解する					
第16回		温度・湿度・気流について理解する					
第17回		衣服の衛生について理解する					
第18回		住居の衛生(採光と照明)について理解する					
第19回		住居の衛生(換気)について理解する					
第20回		住居の衛生(冷暖房)について理解する					
第21回		上下水道について理解する					
第22回		廃棄物について理解する					
第23回		衛生害虫とネズミについて理解する					
第24回		公害と環境保全について理解する					
第25回	前期試験対策	前期試験対策講義					
第26回	前期試験対策	前期試験対策講義					
第27回	感染症	感染症の歴史について理解する					
第28回		感染症の種類について理解する					
第29回		微生物の形・大きさ・構造について理解する					
第30回		微生物の増殖と環境影響について理解する					

2026年度 シラバス

科目名	衛生管理	区分	必修	単位数	2 単位	対象学年	1 年
担当教員	尾崎 塚田 森田 吉川	実務経験	無				
学修内容	美容師は、不特定多数の人々と接触する職業である為、自己防衛の学びとして公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術及び実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえる衛生管理を理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、講義を中心として行う。必要事項を板書し、復習として練習問題を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	単元ごとに練習問題を自宅課題として配布し、解説を講義にて行う。						
使用教材	教科書（公益社団法人 日本理容美容教育センター）						
実務経験に基づく授業内容	歯科医師として、診療(実務)を行う中で常に不特定多数の患者と直接及び間接的に接触し、様々な感染症の患者の診療も行い、感染症に対する感染経路対策、標準予防対策に努めております。さらに皮膚及び器具の衛生管理技術に関する消毒法も日々実践しております。そのような経験から、学生に対して美容所に関しても我々と同じ不特定多数のお客様と接する業務である為感染症に対する様々な危険性、皮膚及び器具に対する重要性、公衆衛生、及び環境衛生の大切さを伝える事で在席時及び卒業直後より実践で発揮できるよう教育していきます。						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第31回		微生物の病原性・人体の感受性について理解する					
第32回		汚染・感染・発病について理解する					
第33回		免疫と予防接種について理解する					
第34回		感染症発生の要因について理解する					
第35回		感染症の予防について理解する					
第36回		空気・飛沫を介する感染症について理解する					
第37回		飲食物を介する感染症について理解する					
第38回		血液等を介する感染症について理解する					
第39回		動物・節足動物を介する感染症について理解する					
第40回		標準予防対策について理解する					
第41回		病原微生物と非病原微生物について理解する					
第42回		衛生管理技術	消毒の目的と意義について理解する				
第43回	消毒に関連のある美容師法について理解する						
第44回	消毒法の種類について理解する						
第45回	消毒に必要な条件について理解する						
第46回	消毒薬の保存上の注意について理解する						
第47回	理学的消毒法について理解する						
第48回	化学的消毒法について理解する						
第49回	消毒薬の濃度について理解する						
第50回	消毒薬の希釈について理解する						
第51回	消毒薬の計算方法について理解する						
第52回	消毒薬の計算方法について理解する						
第53回	美容所の消毒法の原則について理解する						
第54回	美容所の消毒設備について理解する						
第55回	消毒の際の注意点について理解する						
第56回	消毒の際の注意点について理解する						
第57回	手指消毒について理解する						
第58回	美容所の清潔法の実際について理解する						
第59回	後期試験対策	後期試験対策講義					
第60回	後期試験対策	後期試験対策講義					

2026年度 シラバス

科目名	衛生管理	区分	必修	単位数	1 単位	対象学年	2 年
担当教員	尾崎 塚田 森田 吉川	実務経験	無			コース	全コース
学修内容	美容師は、不特定多数の人々と接触する職業である為、自己防衛の学びとして公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術及び実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえる衛生管理を理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後期筆記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、講義を中心として行う。必要事項を板書し、復習として練習問題を行い達成度を確認していく。後期授業には、国家試験対策講義を行い、単元の総復習を行っていく。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	単元ごとに練習問題を自宅課題として配布し、解説を講義にて行う。さらに国家試験対策として各分野ごとの重要事項の復習をおこなっていく。						
使用教材	教科書（公益社団法人 日本理容美容教育センター）						
実務経験に基づく授業内容	歯科医師として、診療(実務)を行う中で常に不特定多数の患者と直接及び間接的に接触し、様々な感染症の患者の診療も行い、感染症に対する感染経路対策、標準予防対策に努めております。さらに皮膚及び器具の衛生管理技術に関する消毒法も日々実践しております。そのような経験から、学生に対して美容所に関しても我々と同じ不特定多数のお客様と接する業務である為感染症に対する様々な危険性、皮膚及び器具に対する重要性、公衆衛生、及び環境衛生の大切さを伝える事で在席時及び卒業直後より実践で発揮できるよう教育していきます。						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	公衆衛生	公衆衛生の意義について復習する					
第2回		各年代の保健について復習する					
第3回		各年代の保健について復習する					
第4回		各年代の保健について復習する					
第5回	環境衛生	衣服の衛生について復習する					
第6回		衣服の衛生について復習する					
第7回		住居の衛生について復習する					
第8回		住居の衛生について復習する					
第9回		上下水道について復習する					
第10回		衛生害虫とネズミについて復習する					
第11回	前期試験対策	前期試験対策講義					
第12回		前期試験対策講義					
第13回		前期試験対策講義					
第14回		前期試験対策講義					
第15回	感染症	感染症の種類について復習する					
第16回		感染症の総論について復習する					
第17回		感染症の各論について復習する					
第18回		予防接種について復習する					
第19回		予防接種について復習する					
第20回		予防接種について復習する					
第21回	衛生管理技術	理学的消毒法について復習する					
第22回		理学的消毒法について復習する					
第23回		化学的消毒法について復習する					
第24回		化学的消毒法について復習する					
第25回		消毒の際の注意点について復習する					
第26回		消毒の際の注意点について復習する					
第27回	卒業試験対策	卒業試験対策講義					
第28回		卒業試験対策講義					
第29回		卒業試験対策講義					
第30回		卒業試験対策講義					